

市連協だより

otsu_gakudo@yahoo.co.jp
http://gakudo-shiga-otsu.jimdo.com

大津市内の児童クラブ保護者会からなる「大津市学童保育(児童クラブ)連絡協議会」発行



特集 全国学童保育研究集会

日本最大の学童のイベント。

大阪で11月7,8日に開催されました。

市連協は弾丸バスツアー2Daysを敢行！

参加者(保護者・指導員)の感想で再現します。



大阪の学童たち、めっちゃ元気！

歓迎行事 1300人！ステップけん玉「もしかめ」！

大阪弁と大阪のノリ

大阪らしい盛り上げ方(ちんどん屋さん)。学び合いだけでなく楽しみましょう、という雰囲気。

大勢の子供たちがひとつになつて頑張っている姿に感動。

オープニング和太鼓。定番の「三宅」

仲間いっぱい！話してスッキリ！

堅い話(たてまえ、こうあるべき)だけでなく 家庭や学童における悩みや問題点が本音で語られていた。悩んでいるのは自分だけではないと、負の部分共有でき安心した。

全国各地から予想以上に大勢の人が参加された。同じ分科会に北海道と沖縄から参加！

仕事に向かう自分の気持ちがフラットの状態に戻りました。また原点です。スタートです。

指導員の先生が、日頃運営にあたって日々ご尽力されている点を知ることができました。

最初は正直、早朝から夕方まで大変だなどおもっていた。ふつうは仕事と家庭生活に追われ学童での生活について考える余裕がなかった。良い振り返りの時間になりました。



全国研に参加することで学童の大切さがわかると思えます。すすんで参加していただけと呼びかけたい。

全国のパワーに圧倒された。子どもたちにとってより良い学童保育になるような活動を続けていくことが大切だと思いました。

二日間とも帰りは互いに得た情報交流や感想など話ができ良かった。

滋賀から参加が200人超え

心に響いた・・・

良い姿だけではなく悪いところ(苦手なところ)も認め合う人間同士の信頼関係を子どもと築いていく。

義務でもないのに親が預けている。それなのに任せっきり、は親としてどうか。「子どもが育つ畑は大人が耕す」

特別報告:東日本大震災の被災地での学童保育への熱い想いに感動。

言葉の良い聞き手になると、話を聞いてもらった子どもは言葉も豊かになり、自分を表現できるようになり、他人の話も聞くようになる(言葉が育つ)

今後の人・子どもとのコミュニケーションについて考えさせられた。

記念講演:中西新太郎先生: 子供も大人も生きやすい社会 関心と配慮のある世界



子ども達に優しくなれそう

子どもの「あのなあ」を聞き逃さないようにしようと思った。

明日から子どもたちを見つめるまなざしがより優しくなっていると思います

子育てについて悩んでいたことがすこし解消できた。学童で頑張っている子どもを家では忙しい中でも時間を作り一緒に何かできる時間を楽しみたい。今しか甘えられない時期かもしれないので、その事に自分が気づけて良かったと思います。

困った子=困っている子と同じく困った親=困っている親 社会の問題まで指導員は理解を深めていく先生が問われている

子供に寄り添い心の奥に何があるのか時間をかけて引き出せるよう 良い聞き手になりたい

どの子も「大事にされている」「話を聞いてくれている」と実感できているのだろうか？



編集後記

喋りたい人大勢。。。の元気なイベントでした。感動して、同情して、憤慨して、納得して、悩んで、勇気が出て・・・来年は名古屋。さらに多くの保護者に参加してほしいです。ところで、イカに心臓が3つあるのを知ってました？ 齋藤(市連協バス係)